

# フェリシア・コエーリョ / Felicia Coelho

## プロフィール

ブラジル出身のフルート奏者。ソリスト、室内楽奏者、フルート専門大学教員として幅広く豊かな音楽活動を展開。近年に名門パリ・エコールノルマル音楽院、コンサーティスト首席卒業。ルイジアナ州立大学音楽学専攻、修士課程修了。パライバ連邦大学音楽専攻、学士課程終了。アズサ・パシフィック大学音楽学部、アーティスト認定プログラム終了。主にミヒ・キム、ジム・ウォーカー、キャサリン・ケムラー、グスタゴ・ジュ・パコ、ジョージ・アルベンに師事。マスタークラスにてエマニュエル・パユ、エイミー・ポーター、キャロル・ウィンセンス、クロード・ルフェーブル、ミシェル・デボストに師事。

パライバ交響楽団、リオ・デ・グランド交響楽団、ジョアンペソア室内楽団、バトン・ルージュ・ファースト・メソジスト教会楽団、アズサ・パシフィック大学交響楽団のソリスト、パライバ・ユース・オーケストラ、ジョアン・ペソア交響楽団、ノースイースタン・エキスペリメンタル交響楽団、ルイジアナ州立大学交響楽団、アズサ・パシフィック大学交響楽団等の首席フルート奏者を務めた。ロサンゼルスウォルト・ディズニー・コンサートホール、パリのサル・コルトーを始めとする世界トップクラスのコンサートホールで演奏を重ねる。

チリの「サンティアゴ・グランプリ（第1回国際フルートコンクール）」特別賞、アズサ・パシフィック大学コンサートコンクール、エマニュエル・パユのもとで演奏する機会を得たブラジル・フルート協会マスタークラスコンクール等の数々のコンクールで受賞。ルイジアナ州立大学、アズサ・パシフィック大学、エコールノルマル音楽院への全額奨学金受給。

室内音楽の活動も精力的に展開し、Quarta Dimensão Ensemble（クオルタ・ディメンサオ・アンサンブル）の奏者としてフランスのベルフォール大学国際音楽祭に参加。ペラッツォ・コエーリョとのデュオにおいてリオ・デジャネイロの第55回 ヴィラ・ロボス国際室内音楽祭の第7回ヴィラ・ロボス室内音楽コンクール第1位。Trio Brasilianas（トリオ・ブラジリエナス：フルート、クラリネット、ピアノ）、Trios Ars Nova（トリオス・アース・ノーヴ：

フルート、オーボエ、ピアノ)、Quinteto Sopro Brasil (クインテト・ソプロ・ブラジル：木管楽器五重奏団)のメンバーとして現在活動。

ブラジルの現代作曲家の第一人者の一人であるLiduíno Pitombeira (リデュイノ・ピトンベイラ)とコラボレーションを重ね、ブラジルのクラシック音楽を精力的に推進。フェリシア・コエーリョに捧げられたピトンベイラの作品『Quarto Miniaturas para Flauta Solo』、『Três Lendas Brasileiras: Concerto para flauta e Orquestra』、『Brasiliiana』初演。

演奏に加えて教育にも情熱を注ぎ、フランスのエコールノルマル音楽院とイシー・レ・ムリノー・ニデルメイエル音楽院、米国ではルイジアナ州立大学パフォーミング・アーツ・アカデミーとパセドナのサタデー音楽院で授業助手職を務め、ブラジルではレシフェのセンター・フォア・プロフェッショナル・ミュージック・エデュケーション、アンテノール・ナバロ・パライバ州立音楽院、PRIMAプロジェクト(エル・システムに着想するプログラム)の講師を務めてきた。リオ・グランデ・ド・ノルテ国立大学、ペルナンブコ音楽院、第4回ベロ・ジャルディン・ヴィルトゥオーソ・フェスティバル、第1回レシフェ室内楽ワークショップ、リオデジャネイロ連邦大学に招かれて演奏、マスタークラス開催。2018年よりブラジル、ペルナンブコ国立大学の専門大学教員。